

令和3年度

# 愛南町当初予算説明資料

愛 南 町



## 令和3年度 当初予算編成の基本方針

第2次総合計画（後期基本計画）の最終年度として掲げる「ともにあゆみ育て創造する町 第2章」を実現するため、また、新型コロナウイルス感染症への対策を講じて、人口減少など直面する町の課題として設定した各種施策を確実に推進し、これまで取り組んできた事業の進捗よくを点検、分析、評価し、10年後、20年後の愛南町の姿を見据えた施策の見直し・再構築を図りながら、本町の自立性、将来性、地域性を念頭に置き、特色ある農林水産物、豊かな自然や伝統・文化など、本町の資源を最大限に活かした事業を展開できるよう、予算を編成しました。

## 令和3年度会計別予算の規模

(単位:千円、%)

会 計 名		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増減率	
一般会計		13,333,000	13,700,000	367,000	2.8	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	3,049,900	3,061,000	11,100	0.4	
	後期高齢者医療特別会計	310,700	322,400	11,700	3.8	
	介護保険特別会計	3,243,500	3,260,000	16,500	0.5	
	小規模下水道特別会計	145,700	143,800	△ 1,900	△ 1.3	
	浄化槽整備事業特別会計	176,400	181,041	4,641	2.6	
	温泉事業等特別会計	118,500	88,867	△ 29,633	△ 25.0	
	旅客船特別会計	26,000	28,051	2,051	7.9	
	公共用地先行取得事業特別会計	87,000	86,202	△ 798	△ 0.9	
計		20,490,700	20,871,361	380,661	1.9	
企 業 会 計	水道事業会計	収益的収入	698,300	690,600	△ 7,700	△ 1.1
		資本的収入	191,396	249,289	57,893	30.2
		収益的支出	698,300	690,600	△ 7,700	△ 1.1
		資本的支出	416,482	534,122	117,640	28.2
	病院事業会計	収益的収入	740,000	746,000	6,000	0.8
		資本的収入	0	40,000	40,000	皆増
		収益的支出	740,000	746,000	6,000	0.8
		資本的支出	30,147	108,911	78,764	261.3
	企業会計合計	収益的収入	1,438,300	1,436,600	△ 1,700	△ 0.1
		資本的収入	191,396	289,289	97,893	51.1
		収益的支出	1,438,300	1,436,600	△ 1,700	△ 0.1
		資本的支出	446,629	643,033	196,404	44.0

### 一般会計とは



一般会計とは、福祉や教育、道路整備など基本的な行政サービスを行うための会計です。

### 特別会計とは



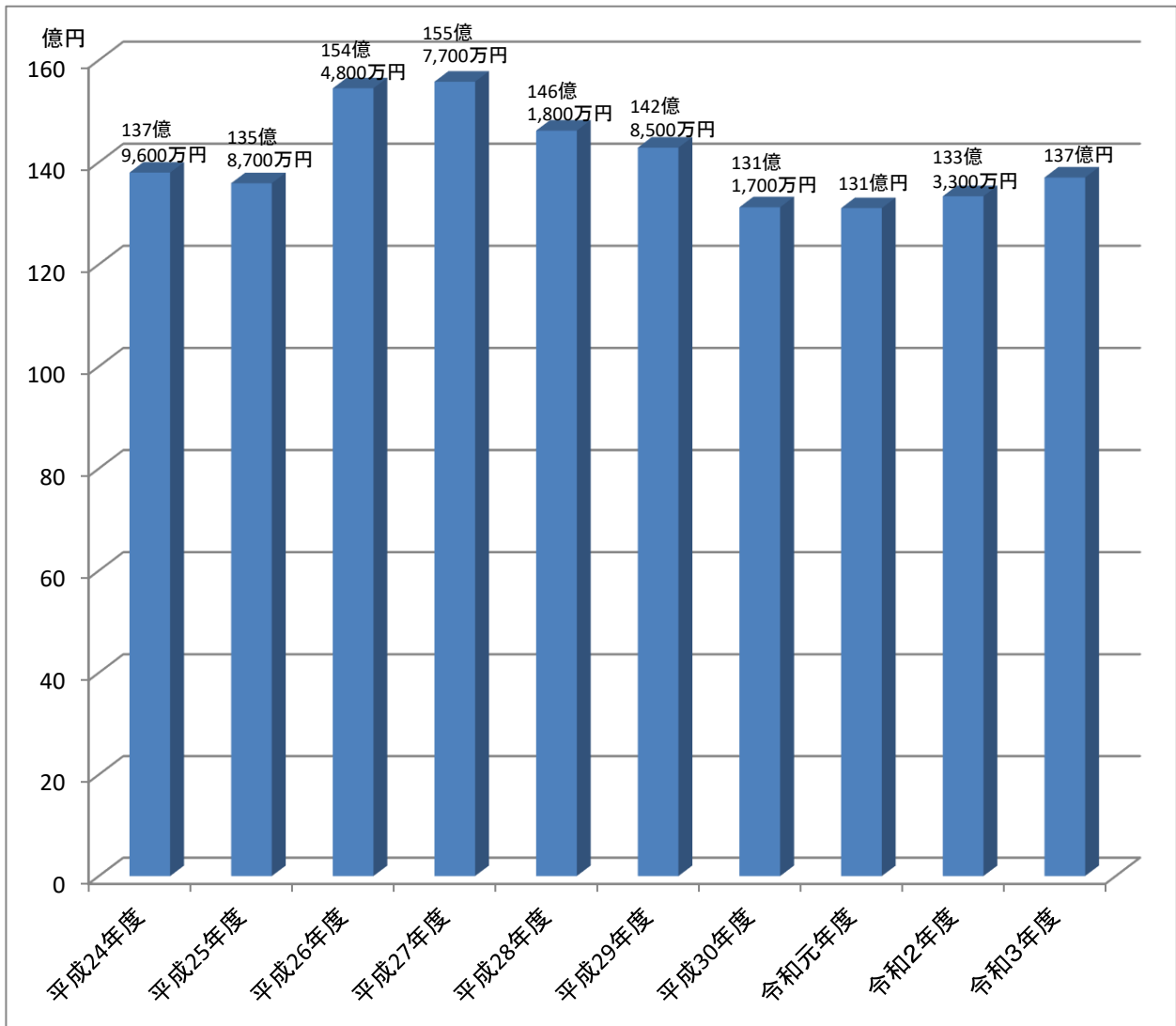
特別会計とは、特定の収入により特定の事業を行うため設けられている会計です。(愛南町では、国民健康保険特別会計など8会計あります。)

### 企業会計とは



企業会計とは、地方公営企業法の適用を受ける地方公共団体が事業を営むため設けられている会計です。(愛南町では、上水道事業会計及び病院事業会計があります。)

## 一般会計予算額の推移(10年間)



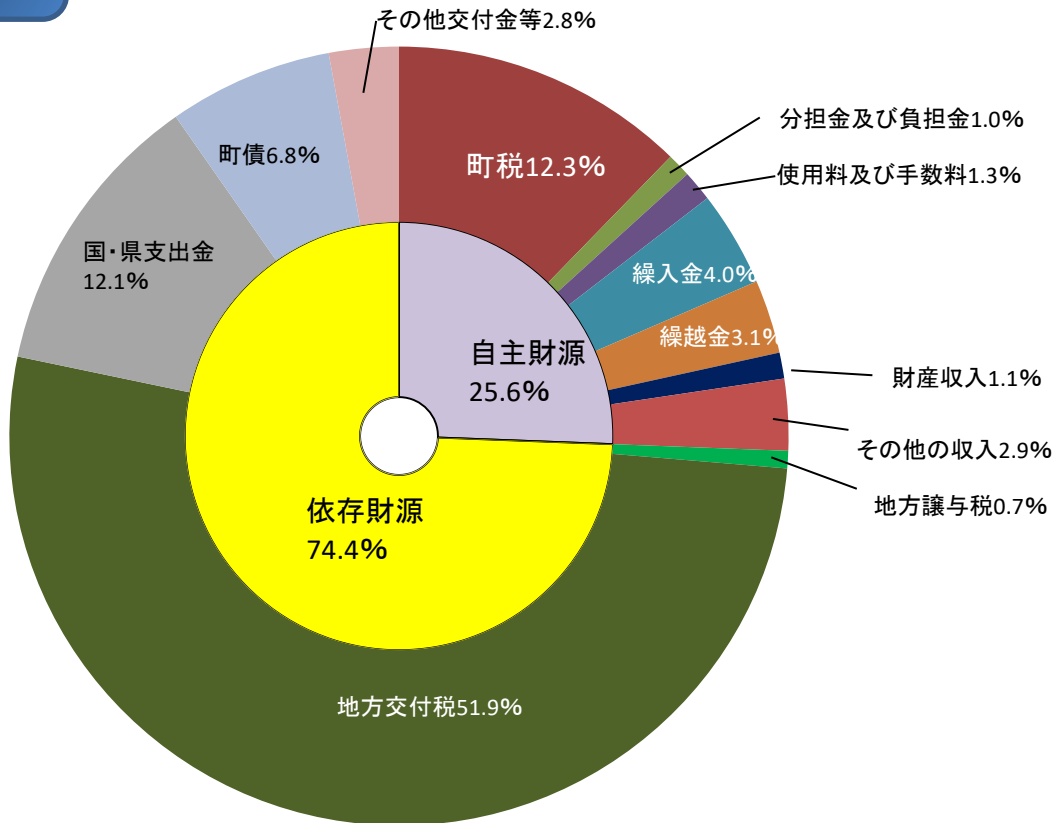
令和3年度

# 愛南町一般会計予算

# 総額 137億円

(前年度当初予算比2.8%増)

## 歳入



## ポイント

●自主財源については、昨年度と比較して2,498万2千円(0.7%)増加しています。これは、新型コロナウイルス感染症の影響や生産年齢人口の減少傾向や固定資産税においては、3年に一度の評価替えに伴う家屋の減少が見込まれるため、町税についてはの減少はありましたが、ふるさと納税に伴う寄附金が増加したことによるものです。

●依存財源については、昨年度と比較して3億4,201万8千円(3.5%)増加しています。これは、新型コロナウイルス接種事業や衆議院議員選挙事務等に伴う国・県支出金の増加及び臨時財政対策債の増加などによるものです。

# 一般会計歳入予算の状況

(単位:千円)

項 目	説 明	R2予算	R3予算	増減額
自主財源	町が自主的に決定し、収入できる財源	3,482,718	<b>3,507,700</b>	24,982
町 税	町民の皆様から納めていただく税金	1,758,531	<b>1,681,495</b>	△ 77,036
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者にご負担していただくお金	135,590	<b>135,403</b>	△ 187
使用料及び手数料	公の施設等の利用料金や、特定の方に対する役務の対価など	180,317	<b>175,046</b>	△ 5,271
繰入金	町の基金(貯金)からの取崩しなど	624,044	<b>543,058</b>	△ 80,986
繰越金	前年度からの繰越金	420,000	<b>419,000</b>	△ 1,000
財産収入	町有地の貸付け・売払いの収入など	133,064	<b>147,387</b>	14,323
その他の収入	寄附金や諸収入	231,172	<b>406,311</b>	175,139
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源	9,850,282	<b>10,192,300</b>	342,018
地方交付税	国から財政力の弱い自治体へ交付されるお金	6,973,045	<b>7,117,000</b>	143,955
国・県支出金	町の行政サービスを行うために、国や県から交付されるお金	1,499,215	<b>1,646,100</b>	146,885
町 債	国や金融機関などからの借入金	818,900	<b>933,900</b>	115,000
その他の交付金等	国や県が集めた税金を各自治体に再配分する譲与税や地方消費税交付金など ※地方消費税交付金(社会保障財源分)として、障がい者福祉費へ73,900千円、児童措置費へ26,400千円、保健衛生普及費へ31,600千円、予防費へ26,400千円充当	559,122	<b>495,300</b>	△ 63,822
合 計		13,333,000	<b>13,700,000</b>	367,000

## ポイント

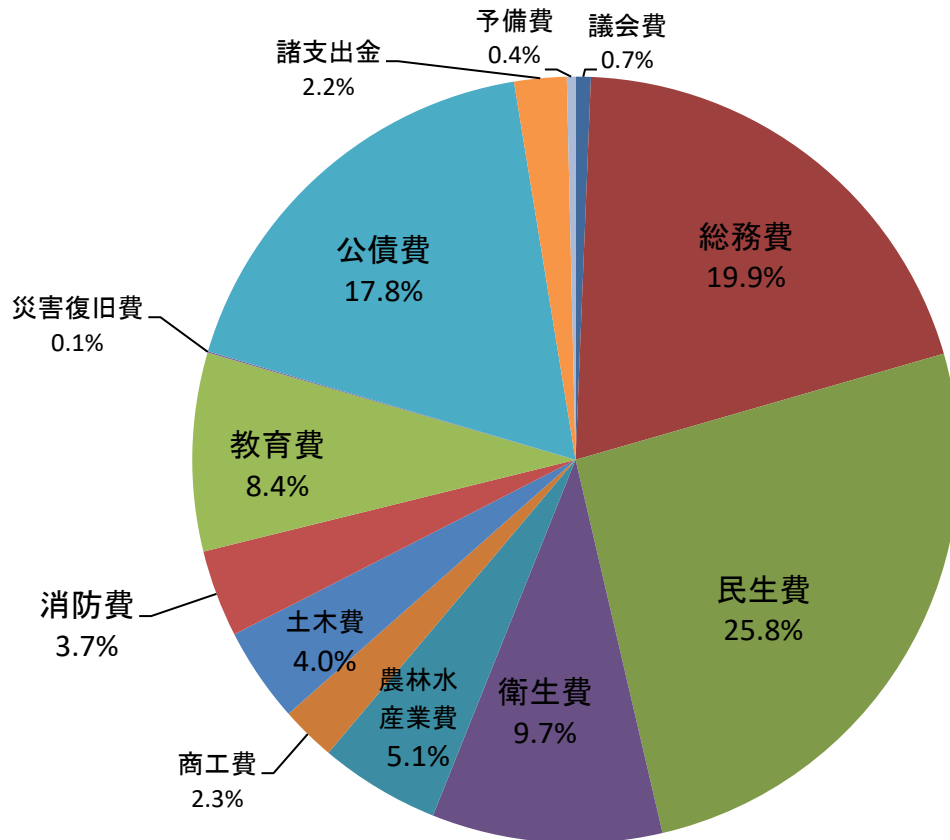
●自主財源のうち、町税については新型コロナウイルス感染症の影響や生産年齢人口の減少に伴って、所得は減少が見込まれ、家屋についても3年に一度の評価替えの年でもあるため、減少見込みにより、昨年度と比較して7,703万6千円の減額となっています。また、繰入金について、昨年は旧小学校取壊し等による公共施設マネジメント基金を充当していたことによる減少で、昨年度と比較して8,098万6千円減額しています。そのほか、ふるさと納税に伴う寄附金の増加によるものです。

●依存財源のうち、地方交付税については、合併特例措置の終了による影響や国勢調査人口の減少はあるものの地方財政計画の伸び率等の増に伴う普通交付税の増加により、昨年度と比較して1億4,395万5千円の増額となっています。また、国・県支出金については、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る国庫支出金や衆議院議員選挙に係る県支出金と種子島周辺漁業対策事業費の増加などにより、昨年度と比較して1億4,688万5千円の増額となっています。町債においては、臨時財政対策債などの増加により、昨年度と比較して1億1,500万円増加によるものです。

# 歳出

歳出予算は、どのような目的のため使うのか、また、その支出がどのような種類の支出なのかが分かるように、「目的別」と「性質別」に区分されています。

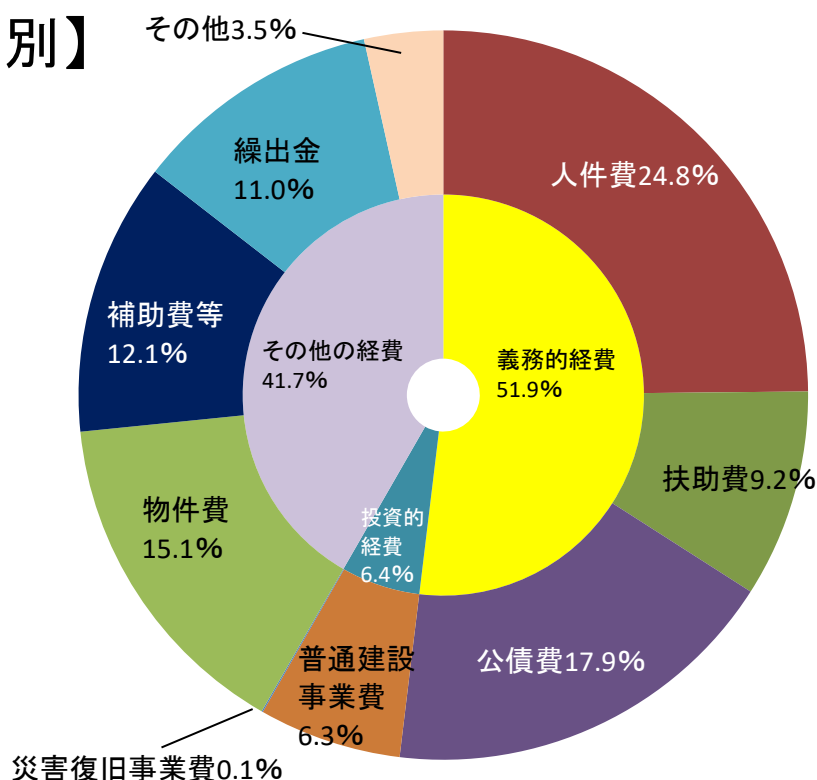
## 【目的別】



## ポイント

●歳出予算を目的別にみると、愛南町では、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療特別会計への繰出金により民生費の割合が一番高く25.8%を占めています。次いで、会計年度任用職員制度等に伴う人件費増により総務費が19.9%、借金の返済に当たる公債費が17.8%、衛生費が9.7%、教育費が8.4%、農林水産業費が5.1%、土木費が4.0%などとなっています。

## 【性質別】



### 義務的経費とは



支出が義務付けられていて任意に削減できない経費で、人件費、扶助費、公債費が該当します。扶助費とは、子供や高齢者などの生活支援に係る費用で、公債費とは町の借金返済に係る費用です。義務的経費の割合が高いほど、財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。

### 投資的経費とは



道路や漁港、公園など公共施設整備に係る費用のことです。投資的経費は、将来の世代にも受益が及びますが、一方で、維持管理費など将来の世代に負担も残すことになります。

### その他の経費とは



義務的経費及び投資的経費以外の経費で、物件費、補助費、繰出金などの費用です。物件費は、旅費、需用費、委託料、備品購入費などのことです。補助費等とは、各種団体への補助金や、一部事務組合への負担金などのことです。繰出金は、一般会計から特別会計へ支出される費用のことです。

## ポイント

- 義務的経費は、予算全体の51.9%を占めています。昨年度と比較すると、2,055万3千円増加していますが、これは、主に会計年度任用職員等による増加によるものです。
- 投資的経費は、予算全体の6.4%を占めています。昨年度と比較すると、2,401万9千円減少しています。主に道路の新設改良事業や閉校施設等管理事業費の減少によるものです。
- その他の経費については、予算全体の41.7%を占めています。そのうち、物件費が15.1%、補助費等が12.1%、繰出金が11.0%を占めています。



# 一般会計歳出予算の状況

(目的別)

(単位:千円)

項目	説明	R2予算	R3予算	増減額
議会費	議員の報酬や議会運営などのために要する経費	93,215	<b>87,771</b>	△ 5,444
総務費	庁舎などの管理、町税の賦課徴収、戸籍など役場の全般的な仕事に要する経費	2,564,851	<b>2,725,009</b>	160,158
民生費	障害者福祉や児童福祉などの福祉施策に要する経費	3,523,466	<b>3,537,859</b>	14,393
衛生費	予防接種や各種検診事業、ごみ収集等に要する経費	1,203,772	<b>1,330,607</b>	126,835
農林水産業費	農林水産業の振興に要する経費	664,305	<b>696,594</b>	32,289
商工費	商工業の振興や雇用対策に要する経費	302,754	<b>317,454</b>	14,700
土木費	道路や河川、公園、町営住宅の管理に要する経費	610,515	<b>548,660</b>	△ 61,855
消防費	火災や救急業務に要する経費	446,188	<b>503,734</b>	57,546
教育費	小中学校の管理、生涯学習、文化振興等に要する経費	1,259,677	<b>1,146,145</b>	△ 113,532
災害復旧費	災害の復旧に要する経費	10,300	<b>7,679</b>	△ 2,621
公債費	国や金融機関から借りた借金の返済金	2,500,379	<b>2,446,241</b>	△ 54,138
諸支出金	他の項目に該当しない経費(基金への積立金など)	133,578	<b>302,247</b>	168,669
予備費	緊急な支出に備えて用意するお金	20,000	<b>50,000</b>	30,000
合 計		13,333,000	<b>13,700,000</b>	367,000

## ポイント

総務費は、職員給与費、ふるさと寄附金事業、町議会議員選挙費、衆議院議員選挙費の増加などにより、1億6,015万8千円増加しました。

衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、病院事業会計補助金、愛南町水道料金差額補助金の増加などにより、1億2,683万5千円増加しました。

商工費は、いやしの南予・復興イベント事業負担金、ロゴマーク等活用支援事業補助金の増加などにより、1,470万円増加しました。

消防費は、災害対応救急自動車購入費、消防詰所新築工事費の増加などにより、5,754万6千円増加しました。

教育費は、閉校施設等管理事業費(旧中浦小学校解体工事)、西海公民館空調設備改修工事費などの減少により、1億1,352万2千円減少しました。

諸支出金は、ふるさと寄附金の増加に伴う1億6,866万9千円増加しました。

# 一般会計歳出予算の状況

(性質別)

(単位:千円)

項目	説明	R2予算	R3予算	増減額
義務的経費	支出が義務付けられていて任意に削減できない経費	7,091,664	<b>7,112,217</b>	20,553
人件費	町職員の給料・手当や議員の報酬等に要する経費	3,264,168	<b>3,403,372</b>	139,204
扶助費	子供や高齢者などの生活支援等に要する経費	1,327,117	<b>1,262,604</b>	△ 64,513
公債費	国や金融機関から借りた借金の返済金	2,500,379	<b>2,446,241</b>	△ 54,138
投資的経費	道路や漁港、公園など公共施設整備に係る経費	898,733	<b>874,714</b>	△ 24,019
普通建設事業費	道路や漁港、公園など公共施設整備に係る経費	888,433	<b>867,035</b>	△ 21,398
災害復旧事業費	災害時の復旧に要する経費	10,300	<b>7,679</b>	△ 2,621
その他の経費	義務的経費及び投資的経費以外の経費	5,342,603	<b>5,713,069</b>	370,466
物件費	物品の購入、光熱水費、委託料などの消費的な経費	2,060,860	<b>2,068,592</b>	7,732
維持補修費	施設の維持補修に要する経費	54,404	<b>46,477</b>	△ 7,927
補助費等	各種団体への補助金や、一部事務組合への負担金などの経費	1,451,116	<b>1,657,384</b>	206,268
積立金	各種基金への積立金(貯金)	133,577	<b>302,246</b>	168,669
投資及び出資金	公営企業会計等に対する出資金	77,985	<b>74,578</b>	△ 3,407
貸付金	高額療養費の貸付けなど、町が一時的に貸し出す経費	5,500	<b>5,400</b>	△ 100
繰出金	特別会計の収入を補うための経費	1,539,161	<b>1,508,392</b>	△ 30,769
予備費	緊急な支出に備えて用意するお金	20,000	<b>50,000</b>	30,000
合 計		13,333,000	<b>13,700,000</b>	367,000

## ポイント

人件費は、主に衆議院議員選挙事務費、町議会議員選挙事務費、職員給与と費及び会計年度任用職員制度等に伴う増により、1億3,920万4千円増加しました。

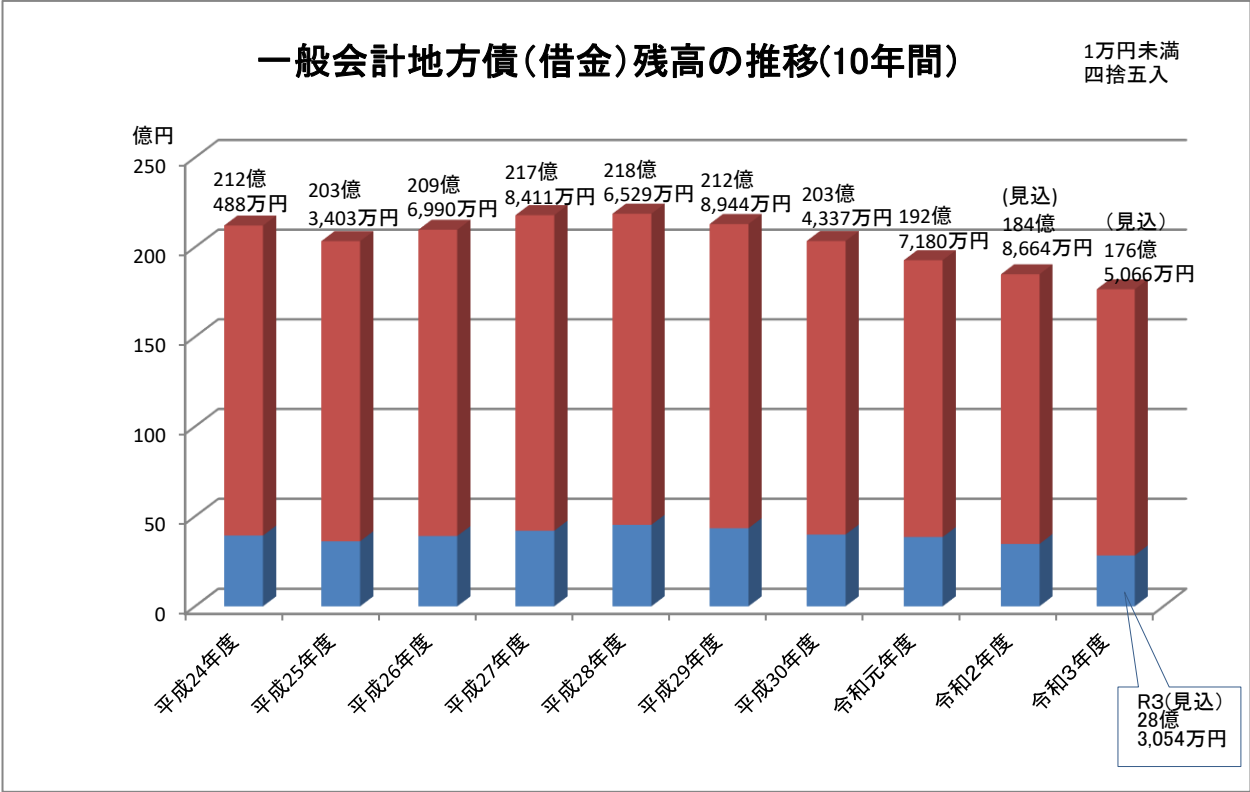
補助費等は、選挙公営負担金、漁業共済支援事業補助金、町農業支援センター負担金の増加により、2億626万8千円増加しました。

積立金は、ふるさと寄附金の増加に伴う基金積立金の増で、1億6,866万9千円増加しました。

物件費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業における予防接種委託料、ハザードマップ作成業務委託料、個人番号カード交付委託料の増加などにより、773万2千円増加しました。

繰出金は、あけぼの温泉大浴場傾斜部壁仕上げ他改修工事の完成に伴う温泉事業等特別会計への繰出金の減少などにより、3,076万9千円減少しました。

# 一般会計地方債残高の状況



# 基金残高の状況

地方債残高のうち ■ は、交付税の算入が見込まれる額で、■ が実質的な地方債(借金)の残高となります。

